令和5年度 施策事前評価シート

施策責任者所属	産業振興課		電話番号	直通	989-5516
基本目標	住みやすく働きやすい豊かなながいずみ				
政策	持続的に発展するまちの実現		施策分野	商工業	
施策分野の総事業費	前年度決算額	289,678 千円	今年度予算額	234,190 千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	単位	進捗評価
1	製造品出荷額	目標値		4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	億円	A
		実績値	4,441.0	4,504.0	4,870.0					
2	町による支援（相談・起業資金支援等）を受けて起業した年間件数	目標値		8	8	10	10	10	件	A
		実績値	6.0	16.0	13.0					
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								

総合評価	A：想定以上に進んでいる

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	勤労者の住宅取得資金及び教育融資資金の利子補給の実施 商工会活動推進事業の支援、長泉ブランドの促進支援 中小企業の経営支援（利子補給、新製品開発やDX支援） 企業誘致・留置支援の実施（調査、補助金、町内企業へのヒアリング） 起業創業支援の実施（起業セミナー、起業創業支援事業費補助金） コワーキングスペース等拠点の運営
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・大手企業や工業団地が存在し、化学工業を中心に県下有数の工業生産を誇り、製造品出荷額は県内町部で第１位となっている。一方で、既存企業は設備の老朽化や事業用地の確保など、町内における規模拡大、操業継続に課題を抱えている。 ・企業誘致は、新東名IC周辺で物流系のニーズが高いが、候補エリアは、法規制があるため、スピード感など他自治体と比較しても優位性に欠けている。 ・サテライトオフィス等設置事業は、制度主旨と企業の意向、実情等と運用が異なるケースもあり、起業創業支援事業は、起業数は増加しているが路面店舗等のにぎわいの創出につながるケースが少ないため、制度の改正やサポート体制を拡充する必要が生じている。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・ファルマバレープロジェクト、”ふじのくに”のフロンティアを拓く取り組みなど地域の強みを活かした企業誘致・留置を図るため緑地率の見直し検討、補助事業の充実及びPRを行う。 ・令和4年度に町内及び工業団地に立地する企業にヒアリング調査を実施しており、調査結果を資料に企業ニーズの把握、支援内容の検討を進める。 ・コワーキングスペース運営事業と商工会の連携及び補助事業の見直しにより、時代に対応した新産業の振興、新たに起業創業を目指す方や既に起業した方のサポートを行う。